

## 何を使う

**機器** スマートフォンまたはタブレット、実物投影機

**ソフトウェア（アプリ）**

ZOOM



## それをどう使う（それで何ができる）

- 1台の端末で100人の生徒とつながることができる。
- 実物投影機を活用することで教師の手もとを画面に映しながら説明することができる。
- 1人の生徒の解答を他の生徒も同時に見ることが可能で、情報共有や協働的な学習に結びつけることができる。



## ここが変わる、活用メリット【ICT活用 Before-After】

高校 簿記

## 【 Before 】

- 対面による授業

【 After 】 **メリット**

- アプリを活用することで、生徒は自宅で演習に取り組み、質問等について対面授業と同様に指導を受けることができる。
- 生徒が登校できない状況であっても、教師は学校や在宅勤務による自宅から、生徒の学習指導に対応することができる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他	学習 場面	一 斉	個 別	協 働
	○	○	○					
授業実施時に必要な環境→					インターネット接続	○	1人1台端末	○
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等	全教科		
	△	○	○		活用が想定される場面	生徒が登校できない場 面での学習指導		